

普及活動情勢報告（令和5年1月分）

高吾農業改良普及所

ナシのせん定講習



12月15日、普及所は、越知町ナシ生産組合に対してせん定講習会を行いました。今回は生産者5名の各ほ場を巡回し、今年度の県下での蜜果・焼け果の発生状況や、せん定の基本的な考え方、樹齢の高い樹の若返りせん定法について説明・実践しました。農家からは、「越知も例年に無く焼け果は多かった」「若返りせん定は試験的にやってみる」という声が聞かれました。また、JAに依頼してコードレスの電動剪定バサミや小型チェーンソーの紹介も行いました。今後も普及所は、栽培技術指導やスマート農機の紹介などによりナシの生産安定に取り組みます。

加工品の販売促進に向けて～秋葉生活改善グループ～



1月11日、仁淀川町別枝地区にある「秋葉生活改善グループ」が加工品の販売計画及び衛生管理のための製造工程の見直しを行いました。「秋葉生活改善グループ」は6月から農山村漁村発イノベーションアドバイザーから指導を受け、販売促進に取り組んでいます。今回はアドバイザーの指導を活かし、それぞれの加工品の販売実績・経費を販売先別に整理し、今後3ケ年の計画を作成しました。メンバーから、店舗により売れる加工品が違ふことや経費の内容について改めて確認できたとの声があり、計画作成に反映させることができました。今後も普及所は、「秋葉生活改善グループ」の取り組みを支援していきます。

促成高糖度トマトの栽培講習



1月18日、JA高知県日高支所ハウス園芸部の月例会が開催され、促成高糖度トマトの生産者18名が参加しました。普及所からは、日射量の増加に応じたかん水管理やサビダニ防除の栽培講習を行うと共に、現在取り組んでいるタバコカスミカメによるコナジラミの防除試験の途中経過を共有しました。生産者からは「タバコカスミカメが定着するまでの期間は」、「コナジラミの防除効果はどうか」などの質問があり、防除試験への関心の高さが伺えました。今後も普及所は、IPMの取り組みを進め、高糖度トマトの生産安定に取り組みます。